

岐阜学習センター（21A）

科目コード	2684713	授業概要	<b>【授業内容】</b> アジアの成長に加えてグローバル化が進む中で、新型コロナウイルス感染症の世界的流行が起こり、さらにウクライナ侵攻、中東の衝突など、我々は多くの不確実性が重なった世界で、激動の変化の渦中にあるといえます。日本やアジアはその中であって、「国連のSDGs（持続的な開発目標）2030」やICT化を踏まえた変化にも迫られています。本授業は放送授業「SDGs下のアジア産業論（23）」を補完する面接授業で、食料・農業を中心に、過去から現在、そしてコロナ禍を越えて、グローバル化とは異なる動向やアジアと世界のこれからを展望する視点を学びます。 <b>【到達目標】</b> アジアおよび世界は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行（パンデミック）やウクライナ侵攻の長期化など、多くの不確実性を重ねた激動の渦中にある。受講生は、本授業を通じて、国連のSDGs（持続的な開発目標）の大きな流れを理解し、世界の食料需給や農業、開発を中心に、過去から現在、そしてコロナ禍を越えて、グローバル化とは異なる動向やアジアと世界のこれからを展望する視点を理解して、さらに探求できるようになる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 SDGs下のアジア産業－SDGsについて－ 第2回 日本の農・食品産業と海外展開 第3回 アジアにおける農業政策とその展望 第4回 アジアと日本の食料消費市場－アジアの所得階層と食料消費の変化－ 第5回 シフトする穀物等の国際市場構造と変化の胎動（1）－食料需給の視点から－ 第6回 シフトする穀物等の国際市場構造と変化の胎動（2）－穀物等の国際市場と台頭する新興国－ 第7回 アフターコロナに向けたSDGs下のアジアと日本が直面する課題 第8回 SDGs下のアジアの産業とこれから <b>【学生へのメッセージ】</b> COVID-19のパンデミック、ウクライナ侵攻の長期化、中東の衝突などが起こり、世界およびアジアは多くの不確実性を重ねた激動の渦中にあります。私の専門である世界の食料需給や農業を中心に、将来を見据えた視点を理解するとともに、さらに探求していきましょう。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 「SDGs下のアジア産業論」科目の内容から自己学習に努めてください。可能な範囲で、引用文献などを調べてみることもよいでしょう。授業で学修した内容などを活用して、SDGsやアジアの農業・食料、世界の食料需給についての情報を収集して復習を行い、理解を深めることをお勧めします。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 筆記用具 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ■ SDGs下のアジア産業論（古橋元／放送大学教育振興会／ ¥3,960／ISBN=9784595324130） 本学の印刷教材 ■ 改訂フードシステム入門（薬師寺哲郎・中川隆編著／建帛社／ ¥2,640） 2025年12月ごろに改訂版が出版される予定です。
クラスコード	K		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	310		
科目名	<b>SDGs下のアジア産業論</b>		
定員	40名		
担当講師	フルハシ      ゲン 古橋      元 放送大学教授		
日程実施時間	■ 7月18日（土） 第1時限    9:30～11:00 第2時限    11:10～12:40 第3時限    13:30～15:00 第4時限    15:10～16:40 ■ 7月19日（日） 第1時限    9:30～11:00 第2時限    11:10～12:40 第3時限    13:30～15:00 第4時限    15:10～15:55 〈試験・レポート等〉 15:55～16:40		
実施会場	岐阜学習センター		

科目コード	2684721	授業概要	<b>【授業内容】</b> 漢字の成立とその発展の過程は、文明体としての中国の歩みと軌を一にします。漢字はきわめて長い時間をかけて現在の私たちが用いる形体・用法へと変化・発展しましたが、その過程は中国のみならず周辺地域にまで影響を及ぼす諸制度が生み出された時代でもありました。本授業では、このような中国文化の基盤の形成と漢字の歴史とがどのような関わりを持つのかについて、豊富な文字資料を用いつつ多方面から考えてみたいと思います。 <b>【到達目標】</b> (1) 漢字の形・音・義に関わる基本的知識を習得するとともに、その成立から完成に至る歴史的展開について理解を深めることができる。 (2) 漢字を参照点としながら、日本にも多大な影響を与えた古代中国の文化と学術に対する俯瞰的な視座を獲得することができる。 (3) 古代中国の文献・書物に触れながら、そこに展開された作者の思索・論理・美意識を追体験することができる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 はじめに～漢字にまつわる基本的概念 第2回 漢字の誕生と古代文明の形成～甲骨文 第3回 青銅器とその時代～金文 第4回 地域性の形成と漢字の変化（1）～春秋文字 第5回 地域性の形成と漢字の変化（2）～戦国文字 第6回 文字統一と古代帝国の誕生～篆文と隸書 第7回 漢字のその後～文化制度としての漢字 第8回 まとめ <b>【学生へのメッセージ】</b> 特段の予備知識は必要ありません。授業中、気になった漢字をすぐに調べられるよう漢和辞典（電子媒体も含む）を用意できればより理解が進むでしょう。 <b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 漢和辞典（任意） <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ■ アジアと漢字文化（大西克也・宮本徹／放送大学教育振興会／ ¥3,520／ISBN=9784595309069） ※古書で入手または本部附属図書館等から取寄せしてください。 ■ 全訳 漢辞海（第四版）（戸川芳郎／三省堂／ ¥3,300／ISBN=9784385140483）
クラスコード	K		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	310		
科目名	<b>古代中国の社会と漢字</b>		
定員	40名		
担当講師	ミヤモト      トオル 宮本      徹 放送大学教授		
日程実施時間	■ 4月18日（土） 第1時限    9:30～11:00 第2時限    11:10～12:40 第3時限    13:30～15:00 第4時限    15:10～16:40 ■ 4月19日（日） 第1時限    9:30～11:00 第2時限    11:10～12:40 第3時限    13:30～15:00 第4時限    15:10～15:55 〈試験・レポート等〉 15:55～16:40		
実施会場	岐阜学習センター		